

イリオモテヤマネコについて

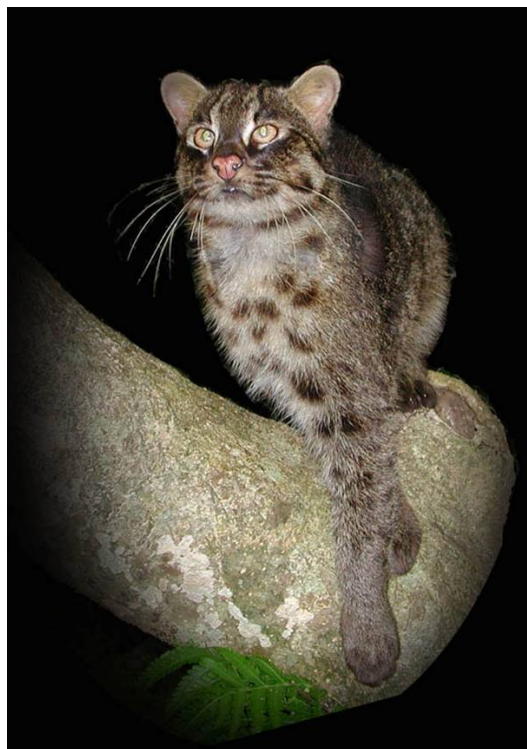
イリオモテヤマネコ

(学名 *Prionailurus bengalensis iriomotensis*)

ネコ目ネコ科

絶滅危惧 I A類(環境省レッドリスト 2007)

平成 6 年 1 月に国内希少野生動植物種に指定



I. 現状

1. 分布及び個体数

- ・ 1967 年(昭和 42 年)に新種記載された日本固有亜種。
- ・ 沖縄県八重山郡西表島(約 289km²)のみに分布。
- ・ 生息数は第4次総合調査(平成 17~19 年度)により 100 頭程度と推定。

2. 形態及び生物学的特性

- ・ 体重 3~4kg、頭胴長 50cm~60cm。
- ・ 育児・出産については、2 頭前後を樹洞などに生んだ事例が報告されている。
- ・ 餌は小型哺乳類、鳥類、爬虫類、カエル類、昆虫類と多様である。

3. 好適な生息地と生息を脅かす要因

- ・ 島の低地部の湿地、河川・沢沿いをよく利用し、マングローブ林、農耕地周辺にも現れる。
- ・ 農地改良、観光開発等による好適生息地の改変、交通事故等が主な減少要因と考えられている。

II. 環境省による保護のための取り組み

- ・ 昭和 48 年以降、環境省(当時の環境庁)において、10 年おきを目途に生息状況等総合調査を実施(第1次:昭和 48~51 年度、第2次:昭和 57~59 年度、第3次:平成 4~5 年度)。平成 17 年度~19 年度の3か年で第4次総合調査を行い、今回その結果を取りまとめた。
- ・ 平成 7 年 7 月にイリオモテヤマネコ保護増殖事業計画を策定し、同年に開設した西表野生生物保護センターを拠点として、生息状況等のモニタリング、行動圏調査、傷病個体等の野生復帰のためのリハビリ飼育、交通事故防止対策等の保護増殖事業を実施している。